

# 財団 広報

2024 No.37

## 特集①

文研コラム

### 森のない国で森を想う

### —ロンドンでの「遠野、遠い森」展

美術家、遠野文化研究センター研究員

新井 卓（あらい たかし）

## 特集②

### 中学生海外派遣交流事業

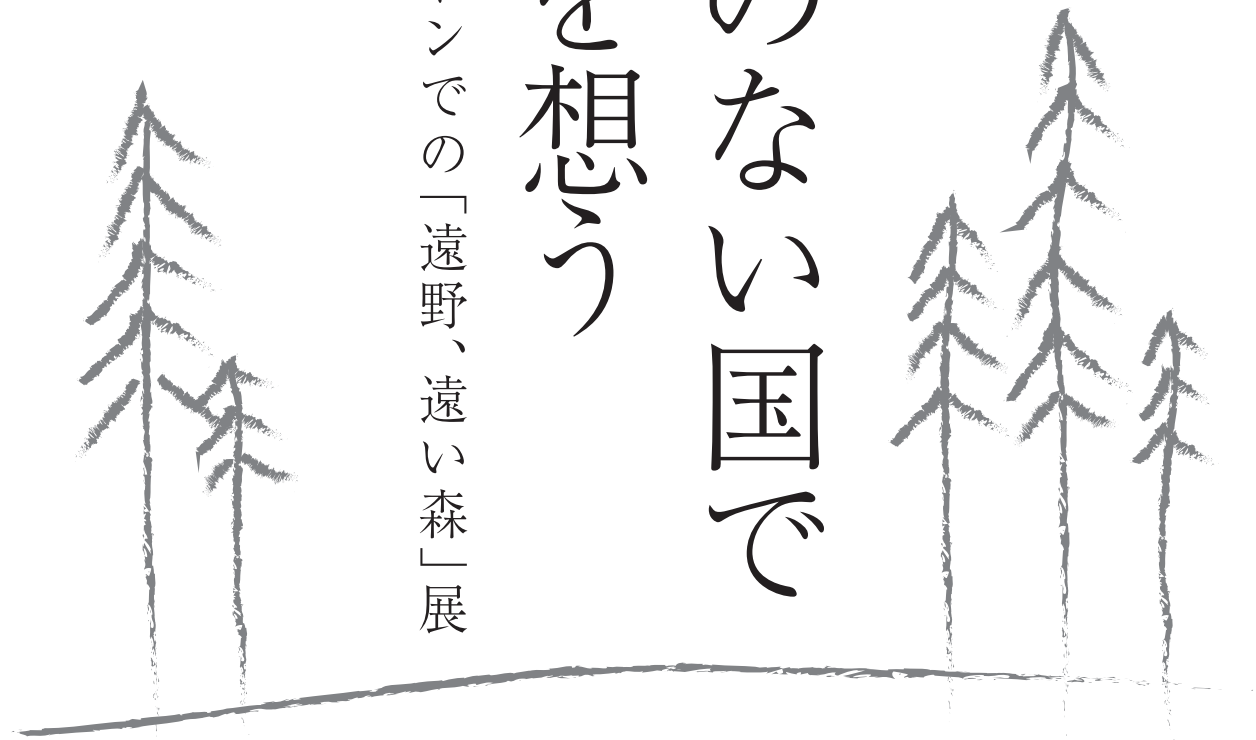
＜表紙＞遠野の郷土芸能 神楽

～千代に舞い継ぐために～

10月26日(土)、遠野市民センター大ホールで佐々木喜善賞表彰式及び遠野文化フォーラムが開催され、約150人が来場しました。遠野文化フォーラムは「遠野の郷土芸能 神楽 ～千代に舞い継ぐために～」を主題とし、遠野市内から大出早池峰神楽保存会、平倉神楽保存会の2団体が演目を披露。平倉神楽保存会からは、菊池清史郎さん(遠野東中2年)が出演し、「権現舞」の初舞台を踏みしました。

# 森のない国で 森を想う

ーロンドンでの「遠野、遠い森」展



一家三人でベルリンに越してから、もうすぐ一年になる。ホームシックにならないですか、日本が恋しくないですか、と折々聞かれるたび、はたしてそうなのだろうか、と考えさせられ、もし恋しいのだとしたら二つ三つくらいのことくらいかな、と思う。超高齢の祖母、これまた超高齢のわたしの猫、そして、森——遠野の森。

ベルリンといえば熊の市章が有名で、空港のお土産や、日本でも売っているあのグミのデザインにさえなっているが、このあたりの森に熊はいない。

ドイツで熊が絶滅したのは十九世紀中期。ごく一部の例外を除き、この国の「森」はすべて人の手が入った二次林といつていい。

だからわたしは、初夏の陽気に誘われ、秋の気配に呼ばれてこちらの「森」をそぞろ歩いて、森を歩いた気持ちにどうしてもなれない。歩きながら、薬師岳から早池峰へ向かうトラバースのことや、六角牛の馬止めあたり、お婆婆が吹き飛ばされた

というあやしい森の小径のことを考えている。わたしにとって森とはヒトならざるもの——獣や虫たち、植物、菌類、祖霊とか、ほかの集合的なにか——の気配に感覚をそばだてながら、自分の身の程を知り、いまだ生きていることの驚きを思い出す場所なのだと、こちらに来てもっとよくわかるようになった。



「早池峰のミニチュア No.1」(2010 年)

去年のちょうど今ごろ、十月中下旬は、遠野の森にいた。年明け二〇二〇年一月のロンドンでの個展のため遠野で新作を追加したいと思い、家族で綾織の友人宅にご厄介になっていた。

田屋の大杉が守り神のように見下ろす畦道で、朝露に濡れてこうべを

とになった。

歴史、文化、自然、そして人々の暮らしが、それぞれに重層的な小宇宙としてある遠野が、日本のふるさであるばかりでなく、世界のふるさとして少しずつ、心ある人々に知られていつてほしい——いや、知られるべく、これからも遠野に通い作りつづけよう、と、森のない街で思いを新たにします。

垂れた黄金色の稲穂を、一歳になるかならないかくらいの長男が嬉々として揺らしていた。昼寝がうまくできずぐずる彼は、村の入り口にかかる橋から小川のせせらぎを見せると途端に泣きやみ、すぐに寝てしまうのだった。

遠野に通いつづけて十三、四年になるが、これまで撮影した銀板写真(鏡のように磨いた銀の板に鮮明な画像を写しとる、世界初の写真技法。

十九世紀中葉にフランスで発明された)は、早池峰の風景や、滝、馬などが多い。遠野という時空間の一部をそのままロンドンに持ってきていた、と考え、今回は、張山しし踊り保存会と遠野市立博物館／遠野まちなか・ドキ・土器館のご厚意に甘えて、



「たそがれ土偶、夫婦石袖高野遺跡、縄文時代後期 (4,000 年前)」(2023 年)

しし踊りのシシと太刀、そして、遠野市内で出土した縄文土器の撮影に挑戦することにした。

銀板写真の難しさ、あるいは魅力は、使う薬品が不安定で写真が「写るかわからない」というところにある。はたして縄文土器の撮影は失敗に失敗をかさね、一方やり直しのきかないしし踊りの撮影は驚くほどうまくいった。

こういう物の怪じみた技法と二十年もつき合っていると、写真というヒトが作り出したテクノロジーにも魂が宿り、「縁」のようなものが作用するのではないか、と思えてくるものだ。震災の数ヶ月前にはじめて遠野を訪れ、早池峰神社の駐車場で銀板写真の準備をしていたとき、遠野の恩人とも呼ぶべき人々に出会ったことは、まさに特別な「縁」だった。

「遠野、遠い森」と名付けたパーディ・ヒックス・ギャラリーの個展には、同じ街区のヴィクトリア・アルバート美術館の学芸員たちをはじめ、近隣の美術ファンやロンドン在住の邦人たちが集い、遠野の作品たちを



「シシ、糠森張一、張山しし踊り、早池峰神社」(2023 年)

筆者 あらいたかし  
新井 卓

1978年川崎市生まれ、現在ベルリンを拠点に活動中。最初期写真技法ダゲレオタイプ(銀板写真)による作品制作を中心に、映画制作、執筆、共同研究ほか学際的活動を展開。木村伊兵衛写真賞ほか賞歴多数。遠野文化研究センター研究員、佐々木喜善賞選考委員。単著に『百の太陽／百の鏡——写真と記憶の汀』(岩波書店、2023年)、『MONUMENTS』(PGI、2015年)など。

## 第19回遠野市民芸術祭

11月2日から4日まで、第19回遠野市民芸術祭を開催しました。期間中は舞台発表、総合展示、合同茶会、菊花展の4部門が活動の成果を発表したほか、総合展示会内では遠野市内中高生特別展も併せて行われました。

舞台合同発表会には舞踊、合唱、演奏など30団体が出演。また総合展示会には華道、文芸、美術など15団体・個人が出展しました。オー



プニングセレモニーでは、花巻市大迫町から「宿場のちんどん屋 早池峰一座」を招き、にぎやかで陽気な笑顔の開会となりました。

また、来場者に芸術文化を気軽に楽しんでもらうことを目的に、6団体が体験コーナーを出展。楽器の演奏体験や生花体験、川柳体験などを行いました。多くの市民が足を運び、芸術文化に親しむ秋の日となりました。

## 外国人市民向け遠野巡り

10月27日、日本語ボランティアグループぼんごが主催となり、外国人市民向け郷土理解講座「遠野めぐり」が行われました。この日は福泉寺や六神石神社を訪れ、紅葉と伝統的な建築物を楽しんだ後、少し足を延ばし住田町にある滝観洞で洞窟探検。たくさん歩いた1日でしたが、参加者からは「初めて訪れる場所もあり充実した日だった。」との声がありました。



## 生涯学習講座「晩年の佐々木喜善をたどる」

10月29日、生涯学習講座「晩年の佐々木喜善をたどる」を開催しました。仙台へ向かう車中で講師の大橋進さんより、『遠野物語』の話者である佐々木喜善の誕生から仙台へ移住する前までのお話がありました。佐々木喜善終焉の地である仙台市宮城野区清水沼では、町内会顧問の佐々木正明さんの案内の下、当時の地図と見比べながら住宅街を歩き、参加者から様々な質問が出ていました。



# 中学生海外派遣交流事業

中学生海外派遣交流事業は、未来を担う学生が海外での異文化体験を通してグローバルな視野と感覚を養うことや、国際理解や国際交流への関心を高め、国際化に対応する人材を育成することを目的として実施しています。

今年度は遠野市内3中学校から選ばれた学生9名が姉妹都市アメリカ合衆国・テネシー州・チャタヌーガ市へ派遣され、令和7年1月10日から11日間のホームステイに挑戦します。現地でのホームステイは、令和元年度から5年ぶりの実施となります。

派遣生は全7回の事前研修を通して、ALTとの実践的な英会話や、海外渡航に必要な基礎知識、チャタヌーガ市やふるさと遠野に関する研修を行いながら、派遣に向け準備を進めています。



遠野中学校2年

阿部 光希さん

自身の英語力向上と、異なる文化を体験し、視野を広げたいと思ったので参加しました。現地の人との関わりを大切に、頑張りたいです。

遠野中学校2年

佐藤 凜さん

私がこの事業に参加しようと思った理由は、海外の人とコミュニケーションを取りたいと考えたからです。派遣に向け英語の授業の復習などを頑張ります。

遠野東中学校2年

菊池 美輝さん

参加しようと思った理由は英語、ALTの先生の話聞いて興味をもったからです。実際に行ったらホストファミリーとの文化の交流を頑張りたいです。

遠野西中学校2年

畠山 一成さん

僕は、海外の文化や暮らしに興味があるのでこの事業に参加します。多くの方々の支援を忘れずに自分の成長につなげられるように頑張ります。

遠野西中学校2年

佐々木 蒼心さん

僕はこの事業を通して、コミュニケーション能力や英語力の向上を目的に参加します。感謝の気持ちを忘れずに、自分らしさを大切に頑張ります。

遠野西中学校2年

河野 悠杜さん

英語力とコミュニケーション力を向上させたくこの事業に参加しました。たくさんことを学び英語やコミュニケーション力を身に付けて帰ってきます。

遠野中学校2年

木元 海流さん

この事業には前回の研修の様子为学校に掲示されていたことで、興味をもちました。以前から海外のことに興味をもっていたので、今回掘り下げたいです。



▲チャタヌーガ市長訪問など、現地では地域や文化、人の交流を図るプログラムが実施されます（写真は令和5年度派遣のようす）

遠野東中学校2年

黒淵 海羽さん

遠野や日本の良さをチャタヌーガの人達に伝えたいと思い参加しました。派遣では、自分から積極的に行動し、楽しく、後悔もなく終われるように頑張ります。

遠野中学校2年

佐々木 愛桜さん

私が今回の派遣事業に参加しようと思った理由は、日本と海外の文化の違いを知りたいと思ったからです。私は海外で、たくさんの文化を学んできます。

- 現地では日本や遠野の文化の紹介、現地の企業、学校見学など
- どの活動を予定しています。
- 生徒のチャレンジをどうぞ温かくお見守りください！



## 第33回 遠野少年少女合唱隊発表会

- 日 時 11月23日(土) 14:00～(13:30開場)
- 場 所 みやもりホール
- 入 場 料 一般300円  
高校生以下200円(未就学児無料)  
※いずれも当日100円増
- ゲ ス ト いそやだいき  
磯谷大樹氏(バリトン)  
すがわらのりこ  
菅原紀子氏(ピアノ)
- 主 催 遠野少年少女合唱隊父母会  
遠野市、遠野市教育委員会
- プレイガイド とびあ、みやもりホール、  
遠野市民センター、  
(一財)遠野市教育文化振興財団

## 遠野市民センターバレエスタジオ 第47回発表会

- 日 時 11月24日(日) 14:00～(13:30開場)
- 場 所 遠野市民センター 大ホール
- 入 場 料 一般1,000円  
高校生以下600円(未就学児無料)  
※いずれも当日200円増
- 特別出演 よこうちくにひろ  
横内国弘氏(バレエダンサー)
- 主 催 遠野市民センターバレエスタジオ父母の会  
遠野市、遠野市教育委員会
- 協 力 公益財団法人スターダンサーズ・バレエ団
- プレイガイド とびあ、みやもりホール、  
遠野市民センター、  
(一財)遠野市教育文化振興財団

## 第23回 「絵で伝えよう！わたしの町の たからもの」絵画展

市内小中学校の児童・生徒の「わたしの町のたからもの」  
をテーマにした作品を展示します。

- 期 間 11月19日(火)～12月1日(日)
- 時 間 9:00～17:15 ※最終日は正午まで
- 場 所 遠野市役所本庁舎 市民ホール
- 主 催 遠野ユネスコ協会
- 共 催 遠野市教育委員会、  
(一財)遠野市教育文化振興財団

ご寄附 令和6年10月受付分まで  
綾織中学校第17回卒業生  
同級会御一同様  
匿名寄附者様 3件  
頂戴した寄附金は、寄附者の  
意向のとおり活用させていただきます。  
寄附は、個人・法人問わず随  
時受付しています。皆様のご支  
援とご協力を賜りますよう、お  
願い申し上げます。

市民の舞台遠野物語ファンタジー  
50回記念公演に向け活動中！  
キャスト・スタッフ募集中です。  
興味のある方はお気軽にご連絡ください。

申込み・問合せは  
一般財団法人遠野市教育文化振興財団 まで  
0198-62-6191 <https://www.tono-ecf.or.jp>  
tono.e.c.f @tonoecf @486merpd

## 就任のあいさつ 理事長 佐藤浩一

この度、理事の互選により(一財)  
遠野市教育文化振興財団の理事長に  
就任しました佐藤浩一です。

当財団は、遠野市教育文化振興財  
団と遠野国際交流協会が合併し発足  
しました。従来の事業である教育  
文化・国際交流・生涯学習・芸術振興・  
遠野文化発信の各事業に加え、小向  
孝子前理事長は、こども本の森遠野  
事業及びコミュニティ・スクールの  
エリアコーディネート業務を新たに  
取り組まれました。

このような多方面の事業を引き継  
ぐことの重大さに身の引き締まる思  
いがあります。

当財団を支えてきた歴代の理事長  
並びに役員の皆様の思いを肝に銘  
じ、事務局長として勤務してきた経  
験を活かし、当財団の理念「心豊か  
で夢を持ち、郷土を愛する人を育て  
ます」を市民の皆様に提供できるよ  
う、微力ながら取り組んで参ります  
ので何卒よろしくお願いいたしま  
す。

